神辺中だより

7

令和４年10月

神辺中学校長

体育大会を終えて

４月に予定していた体育大会を９月18日に実施しました。夏休み明けでコロナの感染にも注意を払いながら，尚かつ，台風接近の予報で開催も危ぶまれましたが，強風の中予定通りすべての種目を行うことができました。

１～３学年を縦割りにし，色分けをした５つのグループでの対抗戦や色別の演技，全校ソーランを行いました。各団の中心となるのが「団長」ですが，今回は「体育大会を通して団をまとめてきた「団長」「副団長」が**「体育大会を終えて」**として感想を紹介したいと思います。

かなり長い内容で申し訳ありませんが，生徒の思いを読んでいただけると幸いです。

私は，団長を精一杯やり切ることができて本当によかったです。最初のうちは答えがないので自分たちがどのように団を動かせば最高の体育大会にできるか必死に考えることでいっぱいでした。練習を重ねるうちに，自分たちがやりたいことが明確になって，それが団のみんなの気持ちを揺るがす行動につながったとわかったときはとても嬉しかったです。私は団のみんなに「一生懸命はかっこいい」ということをどうしても伝えたくて，自分が一番一生懸命になって団を導くことを頑張りました。最後の解団式を見るに，私が伝えたかったことがみんなに伝えられたと思いました。団長をやってよかったと実感したことをよく覚えています。

私ははっきり言うことが苦手なので，途中厳しい言葉を団に伝えることが凄く苦しかったです。どのような言い方をすれば団のモチベーションを上げるきっかけになるのか，よく考えて発言しました。団のことを大事にするためには，時には背筋を伸ばさせるような行動をとらないといけないということを，団長という新しい視点から気付くことができてよかったです。

私は赤組の団の全員から改めて一生懸命のかっこよさ，そして，楽しさを教わりました。全員が思い出に残る体育大会にするために全力で臨んでくれたことをとてもうれしく思います。もしかしたら，全力を出し切れずうやむやになりながら団演技をやっていた人もいたかもしれませんが，それでも最後までついてきてくれたこと，団長，副団長，神中リーダーの話を静かに聞いてくれたことをありがたく思っています。感謝の気持ちも忘れず，体育大会を終わらせることができたのが自分を信じる力に繋がりました。体育大会を通して，相手を認めるだけでなく，自分を認めることができるようになったは，私の中で大きな進歩だと感じます。

*最後まで団長という大きな役目を果たすことができた自分にも感謝し，ついてきてくれた団の全員先生方にも感謝の気持ちでいっぱいです。最高の体育大会にすることができたと思います。そしてすごく楽しい思い出として私の心の中に残りました。自分にも，関わってくれた全校生徒にも感謝です。ありがとうございました。**（赤組　団長）***

僕には体育大会へ向けた全体練習の中で，１つとても心に残っている練習があります。その練習は２学期初めての練習で，その日は団長が休みの日でした。それまでの練習で引っ張ることがなかったわけではないですが，その日は一人だけとなり，かなり大変だったのを覚えています。それでも逆に，自分なりにやれると思い，神中リーダーにも助けてもらいながら２時間を全力で乗り切りました。練習後にある先生からこんな言葉をいただきました。「全力で頑張る姿を見て反抗する人はいない」。この言葉を聞いて僕は，今回の練習が良いものだったんだと安心した気持ちと共に，自分の全力は周りを巻き込む力があると認識しました。

それから少し考え，やっぱり自分の全力を最大限伝えるには声しかないと思い，誰よりも声を出し続けました。赤組は他の組と比べてもまとまりがあり，練習もやりやすいと感じることもありました。でもそれは自分たちが巻き込んで団全体を一つにまとめていたこともあったかもしれないとも思えました。

それでもやっぱり最後までついてきてくれた団のメンバーが本当に頑張ってくれたおかげだと思っています。

赤組のメンバーとして，副団長として最後まで戦えたこと，そして演技の部で，優勝をとれたことが最後の体育大会を最高のものにしてくれました。**（赤組　副団長）**

私は１ヶ月間団長として体育大会に向けて動いて，人の前に立って自分の思いなどを話す力が付いたと思います。以前は 100 人以上もの人を前にして，その時の自分の考えていることを堂々と話すことなんて緊張してできなかったと思いますが，全体練習をしていくうちにだんだんとその場の自分の気持ちをうまく伝えられるようになったんじゃないかと思います。

最初はみんななかなか顔を上げて話を聞くということができなくて「何でいくら注意しても顔を上げてくれないんだろう」と悩みましたが，先生に，話す時のポイントなどを教えてもらって，自分も堂々と自信を持って話せるようになり，最後にはみんなが顔を上げてい射てくれるようになったのがすごくうれしくて，達成感を味わうことができました。**（黄組　団長）**

私は体育大会を終えて身に付いたと思う力は，周りをよく見るという力です。全体練習などで団長が話を進めているとき，周りを見てみると何を言っているか聞こえてない人や下ばかりを向いて聞いていない人などがいました。そんな時，後ろまで声が届いていないことを団長に報告したり，「ちゃんと聞いてね」と声をかけたりなど，団長の話が全体に通りやすくし，スムーズに進めることができました。身に付いた力を活かしてもっとクラスの雰囲気をよくしていきたいなと思いました。**（黄組　副団長）**

私は団長をして少しですが，自分に自信がついたと思います。なぜなら，団長は前に立ち指示を出します。自信がなく話しているとやる気が感じられず，団みんなもやる気をなくしてしまいます。私はそれを１回目の練習でしてしまいました。「これはいけない」と思い，自信をもって話すと団みんなしっかり声を出し，頑張ってくれました。そこで私は「自分に自信がついた」と思いました。皆さんも前に立って何かをする人は自信を持って話してみてください。きっとみんなが付いてきてくれます。頑張ってください。**（白組　団長）**

団長を支え，みんなを引っ張っていく立場として，先生みたいに授業の構成を考えて，どうしたらみんながやってくれるか，できるかを考え続けた約１ヶ月間の成果を存分に発揮できた一日だったと思いました。それは優勝を勝ち取ったからでもありますが，団演技の時の後ろからの声や，帰る（退場の）ときにみんな羽ばたいてくれたこと，ソーランがみんなしっかりしゃがんで踊ってくれたこと，それぞれの競技で１２０％の力を出せたこと，団の中で学年を越えて仲良く話せたこと，団長，副団長全員で大成功させたこと…。たくさんのうれしい気持ちや達成感が感じられた一生の思い出に残る日になりました。練習から本番を通して走って移動どうする時「走って！」というだけでなく，自分が先頭を走ってみんなも走ってもらう，とういう考え方（相手にしてほしいなら自分がする）が人を動かすうえで大切なんだなということが分かりました。また，毎回の練習の後の先生の「２：６：２」や「準備が８割」という言葉はとても勉強になりました。
それを次の練習で活かせるように，団長，神中リーダーと一緒になって練習の内容や並び方，できなかったときの策を話し合って時間がなかったら家で LINE で話したりして，でもまだ不安な時があったら日程で確認したり…。体育大会の練習まで大変なことばかりで「早く終わらないかなあ」と一瞬思ったこともあったけど，それを乗り越えることができたからこそ優勝できたし，学べたことも数えきれないほどだくさんあったので，今は本当にやってよかったと思っています。

体育大会が終わってクラスで LINE で話したり，いろんな人が意外な人と話したり声をかけたりしていてクラス替えをしたときは慣れないと思っていたけど，クラスの仲が深まるきっかけに貢献できたのはとてもうれしいことだなと思いました。

この体育大会で，最初からできないと決めつけるのではなく，みんなで協力して「作り上げていくことが大切」ということが分かりました。２学期，３学期，これからも３年生のリーダーである一人としてできることはしていきたいと思います。白組最高！

（白組　副団長）

私は人前に立って話したり，大勢の人をまとめたり

することが得意ではなく，積極的に挑戦するタイプではありませんでした。でも，去年の３年生がとてもかっこよく，私もあんなふうになりたいと思い団長に立候補しました。体育大会の練習は私が思っていたものよりも何倍も大変でした。一番大変だったことは，練習のスケジュールを決めて進めていくことです。副団長と神中リーダーと話し合ってスケジュールを決めるのですがスケジュール通りに進めたくても時間が足りなかったり，機械のトラブルなどですべてを思い通りに進めるということができませんでした。指示を出すのが少しでも遅れると，他の団に迷惑をかけてしまったり，みんなの集中力がきれてしまって，今までできたいたことができなくなってしまうこともありました。しかし，本番が近くなってくるにつれ集合時間より早く揃って座ることや，休憩を早めに切り上げて練習を進められるようになり，団の結束力が格段に上がったことを感じました。

当日は，団演技の時間が今までで一番良いタイムが出て，みんなで喜んだのがとても印象に残っています。優勝はできなかったけど，みんなの可愛さと元気さが今までで一番出ていた演技だったと思います。

今回の体育大会を通して思ったことは，練習から本気で取り組むことの大切さです。私が１・２年生の時は「本番だけ頑張っとけばいい」と思ってだらだらしていました。しかし，今年団長になり，過去の私を思い出すと先輩方に迷惑をかけていたなと実感したと同時に後悔もしました。団長になったから気付けたことだと思います。1・2 年生の皆さんも練習も本気で取り組んでほしいです。そして，来年は「去年より楽しかった」と思えるような物にしてください。

青組の皆さん。こんな団長についてきてくれてありがとうございました。今までで一番思い出に残る素敵な体育大会になりました。ありがとうございました。

（青組　団長）

「青組の副団長をして本当によかった」と心の底から感じています。7 月の終わり，練習が始まったばかりの頃，私たちの力不足で団をまとめることが全くできませんでした。「こんなにきつなら副団長なんかせんかったらよかった」と家族に相談したこともあったくらいしんどかったです。団長がいない時には，私一人で頑張らないと，という気持ちが強く，空回りし，うまく進められませんでした。「集団の先頭に立つ」ということの責任の重さを凄く感じました。

本番が近づくにつれて，みんなのやる気も見えてきた，すごくいい雰囲気で練習を進められるようになってきました。しかし，本番前のリハーサルで団演技の時間がオーバーしてしまう事件。今更短くするなんて無理なことはわかっていたので，どうしようもないとしか言いようがなかったです。「入退場の時間を少しでも短縮できたらもういいことにしよう」と半分あきらめた状態でみんなに伝えました。

いよいよ団演技本番。いつもより早い鼓動を聞いて，緊張していることを実感しました。「あとはもうやり切るだけ。どんな結果になってもいい」という思いで演技を行いました。なんと記録は，どの団よりも良いタイムでした。私はこれを聞いた瞬間，まとまりのなかった時期がよみがえり，感動してみんなの成長に涙が出ました。つらい時期を乗り越えたからこそできた感動だと思います。

もう一つ体育大会を通して感じたことは，「全ての方へ感謝」です。最後まで頼りなかった私たちについてきてくれた青組のみんな。台風の中，体育大会を開催しようと頑張ってくださった先生方。みんなの晴れ姿をたくさん撮ってくださったカメラマンさん。体を休めたい休日に見に来てくださった保護者のみなさん。そして今，私が一番感謝を伝えたいのは団長，副団長のみんなです。放課後の団長会で一人一人が団のために何ができるかを考え，意見を共有し最高の体育大会を創るためにがんばってきました。そんなお互いの頑張りを知っているからこそ開会式の前みんなで円陣を組んだ時は「体育大会を絶対に成功させるぞ」と強く思いました。他の団の頑張りを感じることができたから「負けられない」と青組は成長することができました。団長，副団長の支えがあったから最後まで頑張れました。

今年の体育大会は団長，副団長が日々努力を重ね，その努力に全力でついてきてくれた生徒全員で作り上げた「大傑作」だと思います。開催するにあたって関わってくださった全ての皆さん，本当にありがとうございました。そして，青組のみんな。中学校生活最後の体育大会が青組でよかったです。辛いことも多かったけ

ど，青組みんなのたくさんの笑顔と元気いっぱいな姿に救われました。「青組副団長」という貴重な体験ができて本当によかったです。
神中のみんな，笑顔いっぱい涙いっぱい「一笑懸命」な最高の思い出をありがとう。**（青組　副団長）**

今回の体育大会は今までで一番最高で，楽しかった体育大会でした。私は「緑組でよかったと笑顔で終われる団」にしていきたいという思いで頑張りました。
実際練習していく中で一番大変だと思ったことは，
団全体の全体指揮をし，練習を進めることです。
前日に副団長を一緒に考えた練習のスケジュールで実際にやってみると思うように進まなかったり，全体指揮がうまくいかなかったりして，どうしたらいいのかわからなかったです。だけど，団の先生，副団長，神中リーダーと共に考え，指示を出すときは話が長いと面倒くさくなり聞いてくれなかったりするので，簡単にわかりやすくまとめ，素早くしてみたり，３ 年神中リーダーを中心にグループに分けたり全体への指示の出し方，まとめ方を変えてみました。すると，練習を重ねていくごとに大きな声が出てきたり，静かに聞いてくれたり素早く移動してくれたり，団全体の雰囲気が良くなり，団結していく姿を日に日に感じました。そんな姿が私の体育大会への思いにこたえてくれているような気がしたし，私自身も体育大会への気持ちがもっと強くなっていました。そして本番では一番最初の雰囲気と違い今までで一番の緑組の団結した姿を全体の場で発揮することができました。団のみんなで笑顔で終わることができ本当にうれしかったです。

この体育大会を通して，周りを見て行動することや全体をまとめるコミュニケーション力が付いたと思います。大勢の前で話すことが苦手でした。だけど，団長という役目を通して恥ずかしがらずに自信が持てるようになりました。そして，他学年と関わっていく中で，それぞれ違う意見があることを理解し，たくさんの人と関わりを深めていくことができました。最後に，緑組の皆さん，最後まで頼りない私の後ろをハキハキとついてきてくれて，最高の団にしてくれてありがとうございました。**（緑組　団長）**

最高の体育大会でした。今回の体育大会が中学校最後の体育大会でよかったなと本当に思っています。

結団式の時私は「緑組の皆が緑組でよかったと思える団にしていきたい」と言いました。この時の私はまとめることを甘く見ていました。実際練習が始まると学年を越えた行事が初めてということもあり，みんな緊張して練習が進みませんでした。何が分からなくて声が出ないのか，何が嫌だから練習に参加してくれないのか，みんなの意見を知りたいのにこれではわかりません。これが私にとって一番大変なことでした。クラスの人と距離が近いと声を出してくれるのではないかと考え，午後学活に声出しを行ったり，教える人が複数いると相談しやすいのではないかと考え，縦割りのグループを作り，学年を越えて相談できる場を設けたりしました。目標達成に向けてその日の振り返りを団長と話すのはとても楽しかったです。練習を重ねるうちに団の雰囲気が良くなったのはもちろんですが，私自身「こんな団になったらいいな」ではなく「こんな団に絶対してやる」と体育大会に対する思いが強く深くなったのを感じました。本番も演技もソーランも今までで一番良かったと感じました。私はリレーに出場したのですが，テントから「副団長がんばれー」という応援が聞こえ，学年を越えて応援し合える関係ができて

いることが何より嬉しかったです。終わった後も「副団長お疲れ様」と１年生が気軽に話しかけてくれました。この時「緑組でよかった」と心の底から思いました。解団式の時，緑組のみんなが笑顔で終わっていたことが本当にうれしく涙が出ました。

副団長をしてみて人と関わることの大切さに気付きました。一方向からではわからないことがたくさんあります。これからはちゃんと話して，見て，感じてその人のことを理解できたらいいなと思います。

はじめに「最高の体育大会」と言いましたが，それは決して私の力とは言えません。私たちに最後までついてきてくれたみんなの力です。みんなの力がなければ最高の体育大会は作れませんでした。

本当にありがとう！
（緑組　副団長）